

雪洞

糸魚川勤労者山岳会

会長 青木 満 磨
TEL 025-552-9901



(2098)No.48 発行 2019年8月27日



山行記

★山域・山名＝北アルプス・雲ノ平

★山行日＝2019年8月16-19日（金-月）

★山行者＝鈴木、大竹、吉田（報告）

■一日目（8月16日/金）・・・

▼糸魚川を13時30分に出発し、折立（標高1350m）キャンプ場でテントを張り一泊。キャンプ場にクマがいて、周囲をウロウロ。人馴

れしているのか、逃げて行かないのでビックリ。初めてのテント泊だったのでいい経験になった。

■二日目（8月17日/土）・・・

▼朝4時前に起床して、4時半に出発。1時間半程樹林帯を登った。三角点あたりから視界が開けて、周囲の広大な空間に感動❗。そんな開けた展望を眺めながら登っていくと、やがて太郎平小屋（標高2330m）が見えてきて、予定より2時間程早く小屋に到着。

▼小屋でゆっくりカップメンを食べてから、次の目的地である薬師沢へ向かう。薬師沢小屋（標高1900m）まではたくさんの木道があり、シラビソやクマザサの中を2時間程下って到着。想像以上に谷底で、周囲の山が高く見えている。

▼しばらく休んでいよいよ雲ノ平への急登の始まり。あまりにもゴツゴツした石（岩）ばか

りの登山道に閉口しながら這いつくばるようにして登ること1時間半。ようやく雲ノ平の平原にたどり着くと、そこはさらに想像していた通りの開けた空間で、ハイマツやいろいろな草花が見られてよかったあ～。

▼雲ノ平山荘（標高2500m）からは水晶岳、黒部五郎岳など周囲の山々がよく見え、特に夕日に照らされた水晶岳が印象的だった。

▼夜間に星空を見ようと外に出てみたが、月の灯りが邪魔をして残念ながら天の川を見ることができなかった。

▼コースタイム＝折立 4:30…太郎平小屋 7:50…薬師沢小屋 10:07…13:37 雲ノ平山荘（泊）

■三日目（8月18日/日）・・・

▼早朝から快晴で、5時に朝食を食べ、すぐに高天原温泉（標高2100m）をめざして出発。2時間半程下って温泉に到着。さらにその奥にある竜昌池まで足を延ばして温泉と池を見た後、いよいよ日本最奥の温泉♨「からまつ露天

の湯」に浸かって汗を流す。硫黄泉の濁り湯で、青空の下でゆったりとした気持ちのよい時間を過ごすことができた。

▼当初の予定では雲ノ平に戻って薬師沢小屋へ行く計画であったが、途中の登り返しと下りの急坂がいやで、大東新道を通って薬師沢小屋

へ行った。登山道というよりは河原を歩くようなコースで、少々苦勞したが3時間半も時間を短縮することができたので、薬師沢小屋での宿泊をやめて、急ぎょ太郎平小屋まで足を進めることとした。

▼途中から天気予報通りの雨に降られ、ずぶ濡れになって太郎平小屋に到着。鈴木さんと山小

■四日目(8月19日/月)・・・

▼早朝、鈴木さんが用意してくれたインスタントのおにぎりのみそ汁で朝食を摂って、早々に折立をめざして下山。9時前には折立登山口に着いたので、帰路途中の亀谷温泉に寄って汗を流して帰宅しました。

▼3泊4日の長旅は初めてだったので、いろい

屋のツテのおかげでたくさんの登山者がいたにもかかわらず、個室に泊まることができラッキー❗。雨に濡れて落ち込んだけれど、個室だったのでのんびりできました。

▼コースタイム=雲ノ平山荘 5:30…高天原山荘 7:45…高天原温泉 8:05…薬師沢小屋 14:00…16:25 太郎平小屋(泊)

ろな発見や経験をすることができ、有意義な山行でした。連れて行ってくれた鈴木さんに感謝、感謝です。ありがとうございました。

▼コースタイム=太郎平小屋 5:25…8:54 折立登山口

《報告 by 吉田》《写真 by 大竹、吉田》

【参考までに「標高」を記入しました=会報担当】



写真下左 太郎平小屋にて
写真下右 雲ノ平から水晶岳を見上げる

写真上右 雲ノ平山荘から黒部五郎岳を見る
写真上左 大東新道A沢付近 沢の右側が登山道となっている